

2020年7月3日

各位

会社名 FRACTALE株式会社
代表者名 代表取締役社長 堀江 聡寧
(コード：3750、東証第二部)
問合せ先 経営企画部長 関本 秀貴
(TEL. 03-5501-4100)

株式取得（連結子会社化）、連結子会社間の合併及び商号変更に関するお知らせ

当社は、2020年7月3日開催の取締役会において、株式会社アレグロクスホテルマネジメント（本社：東京都港区、代表取締役社長：江連慎二、以下「アレグロクス」）の株式を取得し連結子会社化すること、及びこれに伴い当社の連結子会社である FRACTALE ホテルマネジメント株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：堀江聡寧、以下「FHM」）を存続会社、アレグロクスを消滅会社とする吸収合併を行うことを決議いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. アレグロクス株式取得の理由及び合併の目的

当社は、ホテルオペレーション事業に特化した連結子会社である FHM を 2019 年 8 月に新規設立し、ホテル運営の受託、ホテルファンドの運營業務を行っております。また、当社グループのホテル事業は、金沢を代表するホテルの一つであるホテル金沢を保有しており、箱根の大涌谷に位置する高級ホテル&スパのリノベーション事業にも参画しております。

アレグロクスは、30 施設以上のホテル新規開業、リブランディング・トランジションに携わってきた豊富な実績を有するメンバーが運営するホテルオペレーション会社で、レベニューマネジメントやグローバルホテルチェーンのブランドスタンダードにも精通しております。同社は、当社が保有するホテル金沢のオペレーションの運営受託も行っており、これまでのその運営能力の高さについて当社は高く評価しております。

当社は、グループ全体のホテル事業の経営効率化を常に追求し、グローバルホテルチェーンブランドの導入やホスピタリティサービス・メディカルサービスの拡充等によりホテル事業の付加価値の向上を目指すことが、今後のホテル事業の推進において重要と考えております。その実現の為に、まずは当社グループとの親和性が高く、経験豊富で優秀な人材を有するオペレーション会社を当社グループのプラットフォームとして整備することが肝要であると考え、今般、アレグロクスを連結子会社化することといたしました。

また、事業間の連携を一層強化し、一体となって迅速かつ柔軟な意思決定と効率的な経営戦略の執行を図ることが企業価値の最大化にとって最善であると判断し、当社連結子会社の FHM とアレグロクスを合併させ、両社の事業を集約することといたしました。

合併後の会社名称を「フラクタルホスピタリティ株式会社」とする予定であります。

また当社グループは、連結子会社であるサイトリ・セラピューティクス株式会社が保有する再生医療技術を活用して、「医療技術やバイオを活用して価値を創造するプラットフォームカンパニー」を目標に掲げ、今後、当社が提携するホテルや医療機関において、患者が専門的な再生医療を受診できるよう再生医療センターや幹細胞バンクの拠点作りの支援を計画しております。合併新会社であるフラクタルホ

スピタリティ株式会社では、当該再生医療センターや幹細胞バンク事業の早期事業展開の為に、ホテル運営事業で得られたノウハウを活用して、患者の予約受付業務、ホスピタリティサービス、システム整備、在庫管理などのメディカルサービス（事務サービス）を提供していくことも計画しております。

2. 株式の取得について

(1) 異動する子会社（株式会社アレグロクスホテルマネジメント）の概要

① 名 称	株式会社アレグロクスホテルマネジメント			
② 所 在 地	東京都港区新橋一丁目 18 番 21 号			
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役 江連慎二			
④ 事 業 内 容	ホテルなどの運営受託事業 レベニューマネジメントコンサルティング事業			
⑤ 資 本 金	1 万円			
⑥ 設 立 年 月 日	2014 年 3 月			
⑦ 大株主及び持株比率	江連慎二 60%			
⑧ 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。		
	人的関係	該当事項はありません。		
	取引関係	該当事項はありません。		
⑨ 当該会社の最近3年間の経営成績				
	決算期	2018年12月期	2019年12月期	2020年4月期 (注1)
	純資産	19,209千円	21,909千円	21,903千円
	総資産	30,996千円	26,299千円	26,755千円
	1株当たり純資産額 (注2)	192,094円	219,094円	219,037円
	売上高	39,865千円	26,660千円	16,085千円
	営業利益又は営業損失 (△)	8,842千円	△330千円	△404千円
	経常利益	10,125千円	3,297千円	87千円
	当期純利益又は当期純損失 (△)	7,406千円	2,700千円	△5千円
	1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失 (△) (注2)	74,068円	27,000円	△57円
	1株当たり配当金	-	-	-

(注1) 決算期を変更しており、4ヶ月の会計期間となっております。

(注2) 2021年4月期において普通株式1株を10株とする株式分割を行いました。2018年12月期期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)を算定しております。

(2) 株式取得の相手先の概要

① 名 称	江連慎二 他		
② 住 所	神奈川県横浜市南区		
③ 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	当社の子会社であるホテル金沢株式会社の取締役の任に就いております。	
	取引関係	該当事項はありません。	

(3) 取得株式数及び取得前後の所有株式の状況

① 異動前の所有株式数	普通株式 0株 (議決権の株:0個) (議決権所有割合:0.00%)
② 取得株式数	普通株式91株
③ 取得価額	21,112千円
④ 異動後の所有株式数	普通株式 91株 (議決権の株:91個) (議決権所有割合:91%)

(4) 日程

① 取締役会決議日	2020年7月3日
② 契約締結日	2020年7月3日
③ 株式譲渡実行日	2020年7月3日

3. 連結子会社間の合併について

(1) 合併及び商号変更の要旨

① 合併及び商号変更の日程

合併決議取締役会日(当社)	2020年7月3日
合併決議取締役会日(合併当事会社)	2020年7月7日(予定)
合併契約締結日(合併当事会社)	2020年7月7日(予定)
合併承認株主総会(合併当事会社)	2020年7月7日(予定)
合併期日(効力発生日)	2020年9月1日(予定)
商号変更日	2020年9月1日(予定)

② 合併方式

FRACTALE ホテルマネジメント株式会社を存続会社とする吸収合併方式で、株式会社アレグロクスホテルマネジメントは解散します。

③ 合併に係る割当ての内容

	FRACTALE ホテルマネジメント株式会社 (吸収合併存続会社)	株式会社アレグロクスホテル マネジメント (吸収合併消滅会社)
当該合併に係る 割当比率	1	8

(注1) 当該組織再編により発行する FHM の新株式数: 普通株式: 800 株

(注2) アレグロクスの株式 1 株に対して、FHM の株式 8 株を割当て交付する。

④ 当該合併に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

(2) 合併当事会社の概要(2020年7月3日現在)

	吸収合併存続会社	吸収合併消滅会社
① 名称	FRACTALE ホテルマネジメント株式会社	株式会社アレグロクスホテルマネジメント
② 所在地	東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号	東京都港区新橋一丁目18番21号

③ 代表者の役職・氏名	代表取締役 堀江聡寧	代表取締役 江連慎二
④ 事業内容	ホテルオペレーション運営事業等	ホテルなどの運営受託事業 レベニューマネジメントコンサルティング事業
⑤ 資本金	10百万円	1万円
⑥ 設立年月日	2019年8月	2014年3月
⑦ 発行済株式数	400株	100株
⑧ 決算期	3月	4月
⑨ 大株主及び持株比率	FRACTALE 株式会社 88% (※)	江連慎二 60%

(※) FHM の持株比率は、当社が 65%、合弁パートナーであったアドミラル株式会社他が 35% でしたが、2020 年 6 月 30 日に当社がアレグロスの役員 4 名に 12% を譲渡し、アドミラル株式会社他から 35% 取得した結果、2020 年 7 月 3 日現在で当社の持株比率は 88% となっております。

(3) 合併後の状況 (予定)

	吸収合併存続会社	
① 名称	フラクタルホスピタリティ株式会社	
② 所在地	東京都千代田区霞が関三丁目 5 番 1 号	
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役 江連慎二	代表取締役 堀江聡寧
④ 事業内容	ホテルオペレーション運営事業、ホテルなどの運営受託事業、 レベニューマネジメントコンサルティング事業	
⑤ 資本金	10百万円	
⑥ 決算期	3月	
⑦ 純資産	34百万円	
⑧ 総資産	42百万円	

(4) 今後の見通し

当該合併が当期業績に与える影響は、軽微なものを見込んでおりますが、開示すべき事項が今後発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以上